



三宅雪嶺没後60年記念

雪嶺と その妻・花圃

開催期間

平成17年6月4日(土)～8月28日(日) 会期中無休

■開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)

■入館料／一般 300円、団体(20名以上) 250円、65才以上 200円、高校生以下 無料

記念講演会

平成17年7月9日(土) 午後2時～
「祖母・花圃の思い出」

講師：三宅立雄氏(雪嶺の嫡孫)

※通常の入館料が必要です。電話でふるさと偉人館までお申込み下さい。

金沢市立 ふるさと偉人館

Great People of Kanazawa Memorial Museum

〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4

TEL (076) 220-2474 FAX (076) 220-2197

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ijin/>

平成17年は、三宅雪嶺の没後60年にあたる年である。これを記念して、雪嶺とその妻である花圃（龍子）にスポットを当てた特別展を開催します。

雪嶺は色々なものを収集する癖があり、今回は初公開となる切手帳をはじめとし、絵ハガキやタバコ・マッチのラベルなど多くの収集品を展示します。

雪嶺の妻である花圃は結婚前、小説「藪の鶯」を発表しています。花圃の5才年下に樋口一葉がいました。今回は花圃と一葉との関わりなどを紹介する資料として、一葉から花圃に宛てた書簡や一葉の思い出を綴った花圃の自筆原稿などを展示します。



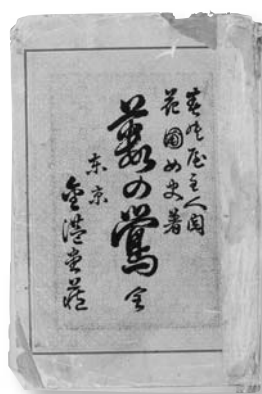
雪嶺とその家族、左は花圃の両親 田辺太一夫妻



花圃愛用の陶硯



『藪の鶯』原稿（明治20年）



『藪の鶯』金港堂（明治21年）

三宅雪嶺と花圃

三宅雪嶺（1860～1945）

雑誌「日本及日本人」をはじめとする多くの雑誌を発行したジャーナリスト。

『宇宙』などの哲学論文を著した哲学者。

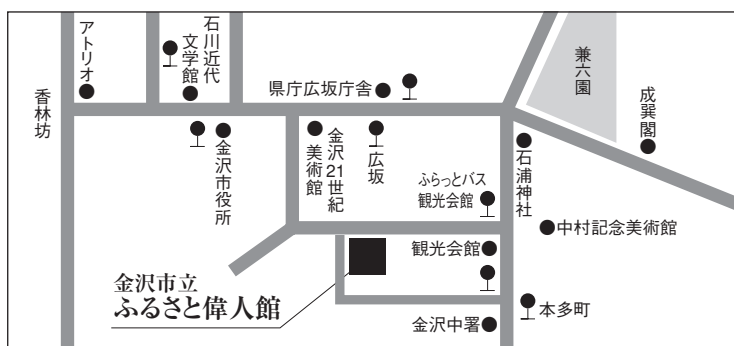
日本近代史『同時代史』を著した歴史家などいくつもの顔をもつ。

三宅花圃（1868～1943）

貴族院議員・田辺太一の長女（本名：龍子）。

歌塾「萩の舎」に入り、『藪の鶯』などを執筆。

明治25年、雪嶺と結婚。



交通案内

北鉄バス

本多町下車 徒歩2分

ふらっとバス(菊川ルート)

観光会館下車 徒歩1分

金沢市立 ふるさと偉人館

Great People of Kanazawa Memorial Museum

〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4

TEL (076) 220-2474 FAX (076) 220-2197

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ijin/>